

安倍政権の暴走政治に終止符を打つための野党共闘をさらにすすめます

福島自主避難者支援

自民・公明などが請願否決

原発事故によって、自主避難している方が「被災者の声を聞き、住宅支援の継続と実りある支援を求める請願」を提出しました。

国と福島県は、避難区域が解除になった地域は来年三月末で住宅支援を打ち切る方針です。請願者は、避難区域が解除されても放射能の不安があり、家屋が荒廃したりで、帰りたくても帰れないと、支援の継続を訴えました。

共産党委員は、支援の打ち切りでは暮らしが立ち行かないと主張し、採択を要求。

しかし、自民、みなど政策会議、公明、港区民と歩む会が請願を否決してしまいました。



段ボールベッドの 備蓄と業界との災害協定を

震災初期、多くの避難所は、土足で入る体育館などに雑魚寝状態です。ほこりが立ち、隣を気にして寝返りも打てない状況です。

段ボールベッドは、①組み立てが簡単。②空気の層でできているので温かい。③昼間は椅子代わりに使える。④収納に使える。⑤避難所から自宅に戻る際も使える。など優れたものです。各避難所に一定の台数を備蓄すること。党区議団は、簡易ベッドの拡充と合わせて、段ボールベッドの導入を提案。段ボールの業界と防災協定を結び、災害時すぐ確保できるように質問しました。

区長は、ダンボール業界との災害協定の締結も視野に入れ、検討していくと答えました。

4月実施 客引き防止条例 共産党は 事前の周知徹底と 一大キャンペーンを提案

客引き防止条例が可決されました。新橋、赤坂、六本木などで悪質な客引きも増えています。条例では、客引き行為を無くすために、客引き行為を禁止し、違反した者に中止の指導や勧告、命令し、それでも従わない場合には、五万円以下の過料に処すことにしています。共産党委員は、事前の周知徹底が決定的に大事だ。客引きができないことを事業者に徹底してほしい。「一万枚のチラシをつくって配布する」との区の説明に対して、一万枚では少ないので、追加の印刷も求めました。一大キャンペーンもあって、客引きを無くしようという提案しました。条例は全会一致で決定されました。四月一日から実施されます。

新郷土資料館新設へ一歩進む



文化財の価値が高い
旧国立公衆衛生院が郷土資料館となる

区議会に、郷土資料館をつくるための展示パネルや映像システムなどの製造物契約の議案が出され、全会一致で可決しました。これで新郷土資料館設置へ一歩前に進むことになります。

共産党委員は、長年にわたって使用するものなので、材料や質を確保するべきだと主張しました。

就学援助制度

就学準備金を2月に支給 共産党は以前から要求

中学生の保護者を対象とした就学援助制度の「入学準備金」は、入学後の7月に支給されてきました。これでは準備に間に合いません。共産党区議団は、入学前に制服や学用品の購入にあてられるよう、ずっと求めてきました。これが実を結び、今年から2月に支給されます。

迎春

困ったときは
すぐ相談を
区議会議員が
ご相談に応じます



大滝 実
区民文教常任委員/エレベーター等対策委員会副委員長/東京オリンピック・パラリンピック対策委員/議会運営委員



いのくま 正一
総務常任委員 / 交通・環境等対策委員会副委員長 / 議員団幹事長



風見 利男
建設常任委員会副委員長/行財政等対策委員/議員団副幹事長



熊田 ちづ子
保健福祉常任委員長/交通・環境等対策委員/議員団長